

科目名 (科目番号)	緩和ケア学 (074711)	教員名 佐藤絹代	学科等	看護	選択	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー			非常勤	
授業概要	ホスピス・緩和ケアの歴史を通し、ホスピスマインド・緩和ケア的思考について学ぶ。また、ホスピスケア・緩和ケアを学ぶことで、看護サービスやQOLの定義について自分の言葉で表現することができるようになる。さらに事例や演習を通した学びによって患者・家族の意向に沿った緩和ケア看護を具体的にイメージすることができるようになる。さらに、授業ではがん患者への具体的な緩和ケアについて学ぶが、本来は非がんの患者も緩和ケア対象であることも学ぶ。						
準備学習	「毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること」						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	がん終末期における身体的変化と心理過程	到達目標:がんの治療経過における身体的変化とそれに伴う心理的变化を理解する。 学習内容:事例を通して死の過程における身体的変化。と心理的变化を模擬体験する				
	2	グリーフケアとしてのエンゼルケア	到達目標:エンゼルケアがいかにグリーフケアに影響を与えるかを理解するとともに、患者・家族の背景にある文化をアセスメントできる。学習内容:エンゼルケアの手順を学ぶとともに日本における死の文化を学ぶ。				
	3	疼痛マネジメントにおける看護	到達目標:疼痛マネジメントにおける看護の重要な役割を理解する。 学習目標:疼痛マネジメントにおける具体的な看護ケアについて学ぶ。				
	4	疼痛マネジメントにおける薬剤選択	到達目標:疼痛マネジメントの方法を理解する。学習内容:疼痛マネジメントにおける薬剤使用の基本を学ぶ。				
	5	トータルペインからのマネジメント	到達目標:患者を全人的にとらえ、適切なケア提供のためのアセスメントができるようになる。 学習内容:事例を通して患者のトータルペインを学ぶ。				
	6	疼痛以外の症状マネジメント(1)	到達目標:呼吸困難における薬剤・看護ケアのマネジメント方法を理解する。学習内容:事例を通し呼吸困難の症状マネジメントについて学ぶ。				
	7	疼痛以外の症状マネジメント(2)	到達目標:食べることの意味や消化器症状のマネジメントの目標を理解する。学習内容:事例を通し消化器症状の症状マネジメントについて学ぶ。				
	8	疼痛以外の症状マネジメント(3)	到達目標:終末期せん妄について理解する。学習内容:事例を通し終末期におけるせん妄についての看護を考える。				
	9	家族ケア・遺族ケア	到達目標:緩和ケアにおける家族ケアの重要性を理解する。学習内容:事例を通してがん患者家族へのサポート方法を学び、遺族会の存在を知る。				
	10	在宅緩和ケア	到達目標:在宅ホスピスの課題や今後の展望を理解する。学習内容:事例を通して在宅ホスピスの現状と看護師の役割を学ぶ。				
	11	意思決定における看護師の役割(1)	到達目標:意思決定の過程には倫理的側面の課題があることを理解する。学習内容:事例を通し患者・家族の意思決定におけるプロセスでの看護師の役割を学ぶ。				
	12	意思決定における看護師の役割(2)	到達目標:意思決定の過程には倫理的側面の課題があることを理解する。学習内容:演習を通して、自分自身の持つ価値観を自覚することが出来る。				
	13	コミュニケーション①	到達目標:コミュニケーションを理論的に理解する。 学習内容:コミュニケーションをアカデミックに学ぶ。				
	14	コミュニケーション②	到達目標:自分自身のコミュニケーションスタイルを知ることができる。 学習内容:ロールプレイを行う。				
15	チーム医療	到達目標:チーム医療について理解する。 学習内容:演習を通してボランティアを含めたチーム医療の在り方を学ぶ。.					
成績評価の方法・基準	終了試験(100%)						
教科書	成人看護学 緩和・ターミナル看護論	編集 鈴木志津子・内布敦子			ヌーベル・ヒロカワ		
参考図書	希望としてのがん看護	訳:遠藤恵美子			医学書院		
教員からのメッセージ	全員参加型の授業を行います。事例検討等を多く行いますので、自分の考えをまとめる訓練にもなります。皆さんの声を一つでも多く聞ける授業にしていきたいと思っております。楽しく学びあっていきましょう！						